

沈淵ムードの一掃

城南

執行部の大奮起望む！

▼……後期執行部が発足して、はや二ヶ月たった。井上会長の下に、体
育会、討論会、美化運動と十三名ともに、それぞれ努力している。
▼……様である。今から、残っている四ヶ月間、まだいろいろとやるべ
きことがあると思う。もうそれ各自仕事の内容や、事務上のこ
とも、完全にのみこめたところで、これから執行部の活躍を期
待したい。

員の紹介をしてよい。	ここで紹介する旨
会長 井上 健司（二の二）	書いてない。又、他の項をみてても
副会長 神田 耕二（二の二）	不明瞭な点や、不足している点が
書記長 松隈 秀隆（二の二）	みあたる様だ。やはり規約改正の
書記 安武千鶴子（二の四）	必要があるのではないかどうか。
渡辺富佐子（二の一）	そこで、執行部ではこの問題を慎重に検討して、りっぱな規約規定
緒方真理子（二の一）	を作つてほしいものだ。
原田千登世（二の三）	また、図書紛失などの沈滯した
整備 三吉 宏行（二の一）	もどしそしもつけて、各クラスで話し合えるような機会をこれから
風紀 藤尾 泰博（二の三）	ホーメルームなどの各クラスで話し合えるようしていきたいものだ。
保健 淵江由紀夫（二の三）	校の基礎が形成られようとしているこの大事な時期を、乗り切つて、城南寮生徒が一丸となって、
体育 高岡 英紀（二の四）	河田先生、千足先生が出席された
文化 翁 努（二の四）	ところ、「一年生がわざかに
の以上十三名である。常任委員会	二年生が出席したという状態であつた。先生方からは、安武先生、
の方は、最初、委員会の役員を決	河田先生、千足先生が出席された
めた際に、副委員が役員になつて	ところのもの意味について話がは
いて問題になり、再度役員の決定	れておらず、
を行なつた。しかし常任委員会規	た。

第三回 討論会

理解しあうために

「対話」ということばがあるの原因ではなかろうか。我々の意を他人に伝えるたけだが、それをどう取りめには、話す必要がある。ごく、違えるのか、自治への必要以上に、何故あたり前のことである。黙っての干涉であるといふ人が多い。こうも対話不在かと思う程、話の事は誤解の始まりである。このことは、「先生と生徒とのし合い、対話というものがなきる。現在、執行部や有志の人々あるといつてさしつかえない。

先日の統一ホールームでの「モラル低下」についての話し合いでも、意見述べる人といふのは、ほどんど固定している。そこで、そのうえで、校風樹立がなされているが、彼らの意見を述べる人が前に大きくながっているのが、树立がなされている。このようだ。また、生徒総会においてもしかり。この意見を言わな先生方は新設四年目の城南の健いといふのがそもそも対話不在トライスをして下さっているわ。」

トライスをして下さっているわ。

じまり、校風といふものは、いわゆる他校と比較してその学校が、どの様な特色を持つてゐるか、ということである。それでは我が城南高校の校風とは、いったいどの様な特色があるのであらうか。それは一つに我が城南高校は、他校に比べてみて、生徒会といふものに対して、あまり関心を持たないのではないか。たとえば、今度の後期生徒会食の立候補の時でも、立候補者が「人も出なくて、どう立候補者が「人も出なくて、どう」という議員会からの推薦によつてやつて決まるという様な状態である。又、今のこの討論会でも言えることで、出席者がたったの二、三人という、又、ホームルームの時間の様子をみていてもそのである。では関心を持たないというのではなく、ただその人は、そういうことに対する意見を持つていてないのであろうか、いや必ず持つているはずである。それではそういう人たちが、ホームルームやこの討論会で意見を述べようとしているであらうか、述べない以上は、他人は、その人たちは、こうううどこといふのである。確かに、この二、三人の生徒は、自分には何か、関係がないように、思つてゐる人が多様だ。そういうものを見ればよといふのである。それで、先生の方にまかく、一、二年からこの状態なまだ四年目である。すなわち、他の学校とはちがうのだ。それは生徒が何を活動するにしても、我が城南高校には、前例といふものが城南高校には、前例といふものがない。しかし他の学校には、それがある。だから、その様な学校では、自分達でその前例を参考にしながらやってゆくことができるが、我が城南ではそうすることができない。だから先生なりではどうしてやつてゆけないのである。といつ先生の意見だった。生徒は自治といふものを、再度考えてみる必要がある様だ。

もう一つは、そういう生徒会と、いうことに對して、自分は生徒会員の一人であるにかかわらず、自分には何か、関係がないように、関係ない。また運営にしても、自分は、盗んでいないから自分には、自分でよいといふ人、すなわち、自分の体にくつづいている方たちに、とにかくもつていてる人たちである。今度の図書の問題にしても、自分は、盗んでいないから自分には、自分だけを考えても、星めしにして自分だけを考えても、まわりの人のことをかまわない人

第一回生徒総会

かかるるといふことだ。我々は、城南高校という一つの社会团体の中、そういう自分本意の行動をとつてゐるのであらうか。
以上の様なことが、原因の一つとはかるうか。といふところでは、校歌も結ばれた。このところでは、校歌も體としての校風は、悪く偏定に歌えない、実になきれないことである。城南の校風のは、この様に悪いといふのであるが。いや決してではないはずである。しかし、その様な悪いものがなくなる限界はない。しかし、その様な悪いものがない限り、全体としての校風は、悪くないちがいない。

このである。城南の中の事と、歌も、金体としての校風もないにちがいない。

帝の校風に従事するに決してある。

II さをもとづ
の城南高に本当に愛校心を持つて いる。
愛校している人間がいるだらう この四年目の若き城南
か。「愛校心に値するものがな 負っている学生二百余名が
じゃないか。」こういふ事を言う 君、本当に若い、活気
人がいた。確かに愛校心に値する してすばらしい城南にする
性の物はないかも知れない。しかし、目覚まし、動き出そ
りその心に値するものを作つてい
うとするのが愛校心ではなかる
か。つまり将来、入ってくる生
友と真から若者として 勉強し、悩み
者が何人いる

「『高校心』という言葉がある。若者たる喧嘩もすれば、学校を愛する心というのだが、こゝ悩みもあれば泣きもある。この新設校の現実をみながらは必ず見えてくる。全く若さといふものはどこにいなくなり、城南生の大半は高校ではこれでいい行つたのか。高校とはこれでいいものなのか！

味自漫の店
蜂蜜の味 大閣燒
わ か み

案へてまいり、さぞかし始めました

西田町・尼の馬場バス停前

洋装と制服の店

城南高校制服指定店

— 治 力

福岡市清川1丁目6街区12号
TEL ⑤ 1305

各種スポーツ用品

博陽力メラ

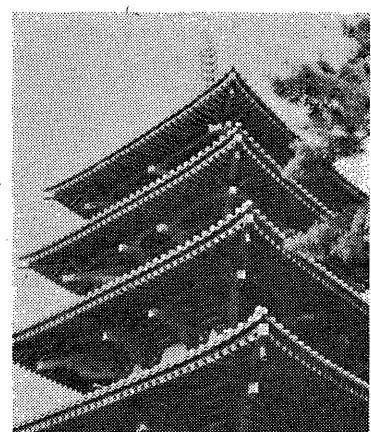
D・P・E上仕上ば



〔写真説明〕

右上 早朝の大阪城
左上 奈良公園の雄鹿
下 東大寺大仏殿

秋の関西を行く



ものたりない日程

二年修学旅行

出発するまでは、あれこれやと随分待ち遠しかったのに、終つてみると、実にあつた。これが最初の感想である。

十月十八日、午後八時、博多駅に集合。九時、急行寝台車「ひくに号」で出発。一足先ぎに特急寝台車「月光」で出発した第一陣の後を追い、一路大阪へ。

日頃の緊張した生活から一派に解放され、関西への期待に、皆胸をはます。持参したトレイに着換えて早くも寝台にもりこむ者、お菓子の袋を開ける者、おしゃべりに熱中するグループ、歌聲も流れる。そつているうちに、JR大阪駅に到着。

十九時三十五分、大阪駅に到着。ここからクラスごとにバスに分乗し最初の目的地である新和歌浦へ。九時四十分、東大寺大仏殿へ。東大寺の大仏殿は、すばらしいが、少し見ると、古びた感じだ。

市内をぬけると高層ビルも姿を消す。和歌山城を左に見て、繁華街を抜け、一時近くになってよう

ら見る日の出はまだ美しい。

十九時四十五分、大阪駅に到着。

ここからクラスごとにバスに分乗し最初の目的地である新和歌浦へ。

九時四十五分、東大寺大仏殿へ。

東大寺の大仏殿は、すばらしいが、少し見ると、古びた感じだ。

市内をぬけると高層ビルも姿を

消す。和歌山城を左に見て、繁華街を抜け、一時近くになってよう

ら見る日の出はまだ美しい。

十九時四十五分、大阪駅に到着。

ここからクラスごとにバスに分乗し最初の目的地である新和歌浦へ。

九時四十五分、東大寺大仏殿へ。

東大寺の大仏殿は、すばらしいが、少し見ると、古びた感じだ。

市内をぬけると高層ビルも姿を

消す。和歌山城を左に見て、繁華

街を抜け、一時近くになってよう

ら見る日の出はまだ美しい。

十九時四十五分、大阪駅に到着

